

414
A1915

明治十一年四月十日

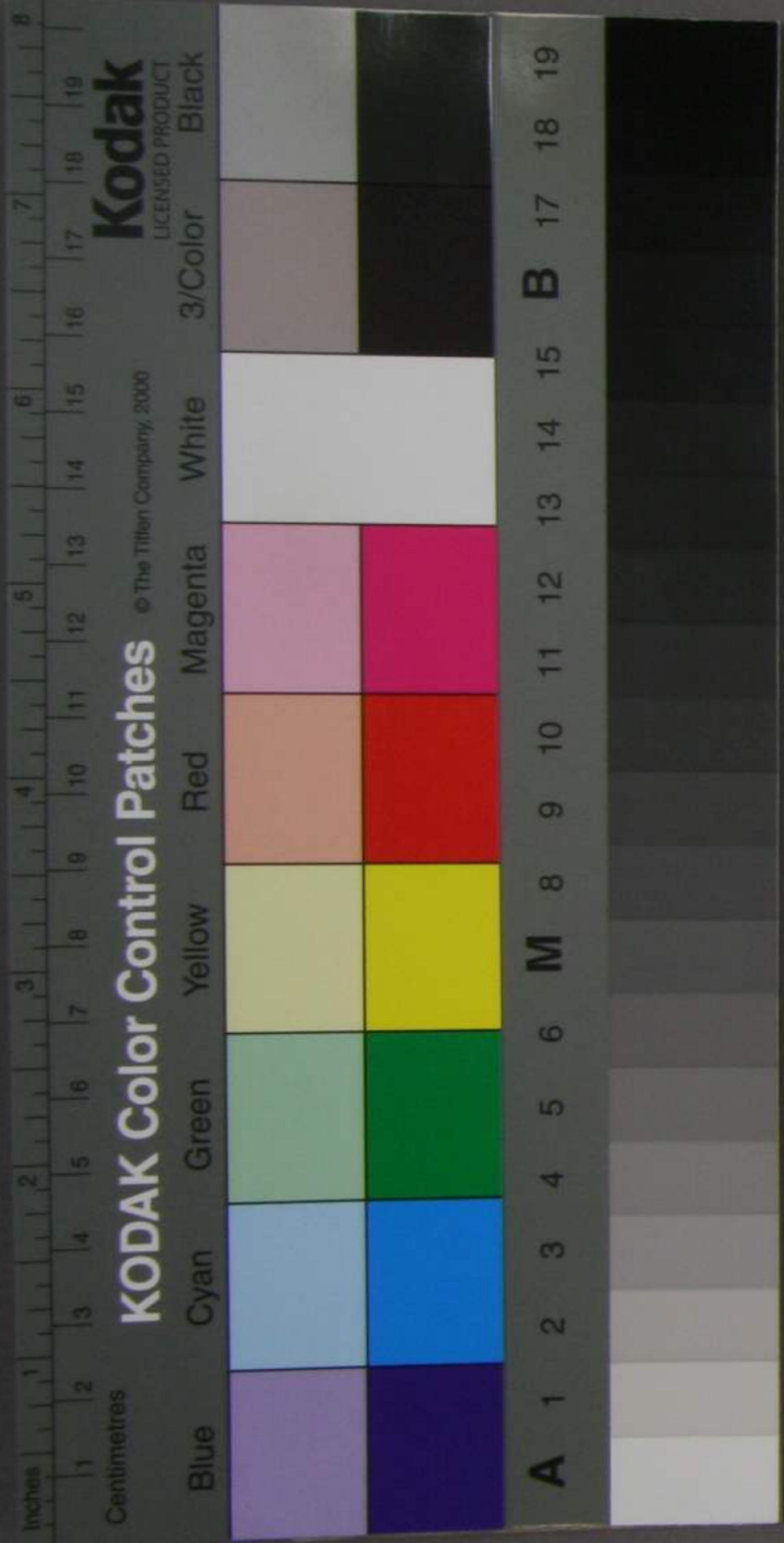
租税局

大正十一年四月十日
大隈侯爵郵寄贈

662

卿輔

地租納期ノ儀ニ付テハ此程中既ニ更正ノ議案ヲ草シ進達致シ候次第モ有之候得共原米本邦耕耘ノ業ニ於ケル米穀ヲ以テ第一ノ致シ候ニハ十九ハ右收穫ノ第一ヲ以テ納租ハ勿論其餘一切ノ費用ヲ支消致シ候儀ニテ他ノ季第一ニ於テハ蚕種蠶桑ヲ産出スル地方ノ外ハ其得ル所モ僅ニ品キス仍テ循環運納ノ方法ヲ施行致シ候



ハ其情願、ハ便法ヲ設ケ人民、都台ヲ與フル為
ナカル可カラス、ハ納期ノ法アルモ、ハ時ノ納期ヲ
若相場、ハ産スルアラハ官區其所得ニ至ラカ
完結、ハ期ヲ失スルハナキヲ得ルニ至ラカ
因テ本、ハ課税トセハ預ケホノ方法、ハ然ル上ハ
民間、ハ於テ實際納方ノ便ナルヲ以テ自
然納租ノ延滞ヲ免カル、ハ必然ノ儀ハ
存候因テ別紙太政官へ申上及
府縣へ布達等、ハ租稅局取扱等
取束、ハ此段相伺候也

太政官へ伺案

地租代米納之儀、ハ同
地租納期ノ儀、ハ各地積年ノ習慣、ハ人民實
際ノ情狀トシテ高量スルニ依テ容易ク、ハ交
易ス可カラサルハ素ヨリ釐スルヲ俟タサル儀、ハ既
、ハ這般納期改正ノ儀ヲ上道ニ委曲陳述致シ
置候得共到底具本旨ナル循環申納ノ法ヲ
以テ漸然糶賣ノ弊害ヲ除キ民間安息域
、ハ赴カシムルノ方法、ハ在リ然レド雖モ茲、ハ一種ノ便
法ヲ與ヘサル片ハ民情或ハ其法ノ即否ヲ問ハスニテ
直チ、ハ目前ノ惑ヲ生スル等ノ恐ナキヲ保シ難シ故
、ハ地租ハ當分民ノ情願、ハ任セ談年田租納額

五歩通迄、從前貢納石代相場ノ方法ヲ用ヒ
該年ノ相場ヲ以テ金ニ換ルル米ヲ以テスルノ事ヲ
許シ其納入セシ米額ハ當省ノ都合ヲ以テ回漕又
ハ賣却スル等其時、便宜所分、儀中許可相
成度然ルハ於テハ漸次金融ノ便利ヲ開キ米價
平準ノ權衡ヲ得ルニ至リ自ラ金納ノ便ヲ
知ル可至儀中奉存候依之申布告申未共地
方官取扱條例申達案共取調相同條條
至急申裁可ノ上夫、申達有之度奉
存候也

年月日

大臣殿

大藏卿

公告案

地祖金ノ内田方ニ限リ當分ノ處額ニ當リ、總額ノ
五歩通迄前貢納石代平均相場ノ方法ヲ用該
年ノ相場ヲ以テ米納差許候條此旨布告候事

府縣御達案

今般第 号ヲ以テ地祖金代米納差許候ニ付
右取扱方ノ儀ハ左ノ條例ニ照シ所分可致此旨相
達候事

右大臣

代米納取扱條例

- 一 人民ノ情願ニヨリ金ニ換ルル米ヲ以テスルハ是ヲ許可シ左ノ順序ヲ以テ取扱フヘキ事トス
- 一 地方官ハ五年十月一日ヨリ十月三十一日迄二十一日同管内平均相場確實取調十二月十九日限り租稅局ヘ届出ツヘシ
- 一 代米納額出シト原スルモノハ遲クトモ其納期日
三十日以前為申出許可ヲ得ルモノニ限ルヘシ
 左右以後ハ金納ニ復スルモ許サレキ事トス
- 一 代米納ヲ許可セシムル其金納及代米石高納所去仕譯書ヨリ納期前大藏省ニ届出ツヘシ
- 一 代米納額出ルマテハ其納ムヘキ金額ヲ前條平

十月十五日

均相場ニテ算出シ得ル所ノ米額ヲ納入センハ本令

行金額百圓中レハ平均相場五円

ヲ以テ除之此米貳枚石ヲ得ル

尤優格在合米差入

方其他川陸運賃官民ノ區別拵廻シ極量ノ

方法トモ免テ從前ノ賣納規則ニヨルヘシ

一 米納ノ分納所ハ輸送濟ノ上ニ其地方租稅課

官負ノ負米納方規則ノ順序ヲ以テ納入ヨリ請

取而シテ后是ヲ預米金ノ方法ニ倣ヒ其米額

ハ假令出納課ヘ引渡置大藏省租稅局ヘ普通通

ノ上納證書ハ金額ヲ本行ニ立此代米若于ト記載

レ上納スヘシ

但納米藏敷其他ノ諸費ハ納入ヨリ請取濟出納

課ヘ引渡置時限ヲ以官民ノ區別ヲ立ツヘシ

右之通ニ候事

大藏省中取扱區分書

代米納租稅局取扱方

一 人民ノ情願ニヨリ代米納ヲ許可スルノ其條例
ニヨリ地方官ヨリ上納スルアレハ租稅局ハ金額ヲ
本行ニ立此代米若干ノ証書ヲ以本省へ上納
スル

一 本省へ上納隔ノ証書未負ハ大藏省ノ都合ヲ以
蓄分是ヲ預米トナシ或ハ田漕シ或ハ賣却スル等各
其立勢_{本行納局貯蓄課殿}局課ノ處分ニシテ租稅
局ニ關係スルナシ

右之通

